

清須市内でカラスの複数の死亡事例がありました

この度、カラスの複数の死亡事例がありましたので、お知らせします。
令和6年5月22日（水）から6月12日（水）までの間に、清須市内でカラスが死んでいるとの通報を多数受けました。

原因特定のため、死亡報告のあったカラス14羽のうち回収した7羽について、鳥インフルエンザ検査を実施したところ、結果は陰性でした。

さらに化学物質検査を実施したところ、有機リン系化合物「シアノホス」が検出されました。検出された「シアノホス」とカラスの死亡との因果関係は不明です。

1 発生概要

- (1) 通報年月日：令和6年5月22日から6月12日
- (2) 発生場所：清須市内（西枇杷島小学校近隣、西枇杷島町小田井地域）

2 検査結果

5月22日から6月12日にかけて回収したカラス7羽について、鳥インフルエンザ検査及び化学物質検査を実施した。

- (1) 鳥インフルエンザ検査
7羽中1羽検査 陰性
- (2) 化学物質検査
7羽中3羽検査完了 残り4羽に関しては現在検査中
3羽中2羽から化学物質「シアノホス」を検出

3 今後の対応

- (1) 野鳥の死骸を見つけても素手で触らないように注意喚起します。
- (2) 周辺のパトロールを強化します。
- (3) 農薬の適切な保管・管理及び使用について周知します。
- (4) 西枇杷島小学校保護者様への周知に関しては、西枇杷島小学校から注意喚起いたします。

【参考】

- ・シアノホスとは
有機リン系化合物で殺虫剤等として使用される薬剤。